

“この夏休み一番の思い出④”

「夏休み前半は部活の人達とコンクールに出て、結果は少し残念でしたが、全員が頑張って練習したり楽しくできたので良かったです。夏休み後半は家族と温泉へ行ったり、花火をして充実した夏休みが過ごせました。」
(4組)

「部活をたくさんしたことです。夏休み前に出来なかった練習や苦手な部分の強化など夏休みの練習で得たことが多くありました。また、時間に余裕があったことで自分の改善点に向き合うことができたので、練習により深みが出たのが良かったです。」
(4組)

「映画を2本観たことが思い出に残っています。1本目は邦画の「ダブルフェイス」という映画と、2本目は「シックスセンス」という洋画です。どちらもとても見ていると興奮するような映画です。とても印象に残っているのでお勧めです。」
(5組)

「学習に関しては、宿題は終わりましたが、まだ自律的ではなかったです。今年はコロナ禍から旅行の予定が無かったので残念でした。夏休みはいつも母の家事を手伝います。」
(5組)

「女子の高校野球の練習を見に行ったことです。千葉県で女子野球をやっている所は秀明八千代しかないなので、その高校を見に行きました。やはり自分たちが今やっているレベルとは格が違い、もっとしっかりと練習しなければレギュラーを獲れないと感じました。」
(5組)

＜夏休みに読んで一番印象に残った本＞

「マスカレードホテル」東野圭吾著 「リオネルメッシ」 「兄の名はジェシカ」ジョン・ボイン著
「告白」湊かなえ著 「Duet」 「夜が明けたら、いちばんに君に会いに行く」汐見夏衛著
「ナルニア国物語」C.S.ルイス 「枕草子」清少納言著 「山中伸弥先生に人生と iPS 細胞について聞いてみた」 「10 代の疲れた心がラクになる本」 「打ち上げ花火、下から見るか？横から見るか？」大根仁著
「10 年後、君に仕事はあるのか」 「バッテリー」あさのあつこ著 「桜のような僕の恋人」

よのなかルール 6 <「メシを食える大人になる！よのなかルールブック」高濱正伸監修>

「見た目ではなく中身で勝負する人になる。」

よのなかに出たときに活躍できるのは、人がらや教養など、中身で勝負できる人。

大人になっても通用する魅力を今のうちから育てていこう。

